



国内PC/タブレット/スマートフォン家庭市場利用実態調査結果を発表

PCは夜間の利用率はピーク時約6割で最も高い
 タブレットは用途が特徴的で他機器と使い分けが進んでいる
 PCの買い替え期間は、タブレット所有者の方が非所有者よりも短い

● IT専門調査会社のIDC Japan（以下、IDC）は、国内家庭市場におけるPC/タブレット/スマートフォン所有者の利用実態調査の結果を発表した。

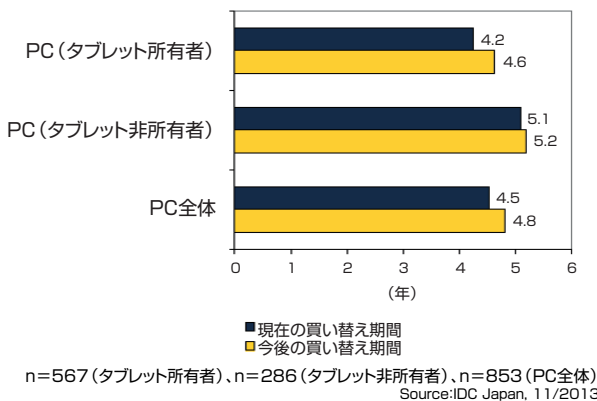
家庭向けPC市場は需要減の長期化が懸念され、タブレット市場拡大のための事業機会も見えにくい状況にあり、スマートフォン市場の減速も懸念されている。本調査では、PC/タブレット/スマートフォンの利用者に対し、複数機器の使い分け状況を把握するため、誰がどの時間帯にどのような用途/アプリケーションでそれらの機器を利用しているかについて包括的な調査を行った。

3つの機器を全て所有しているユーザーの平日の時間帯別の利用率は、

PCは夜9時台がピークで約6割、夜の11時台でも約5割となっており、他の機器に比べて依然として高い利用率となっている。タブレットは夜10時台がピーク時約4割、独身者では4割強と高い利用率となっている。タブレットにおいては閲覧性・視認性が重視される用途（電子書籍の閲覧、ビデオ視聴、写真閲覧、地図検索）で特徴的な結果が示され、PCやスマートフォンとは使い分けが進んでいることが確認された。スマートフォンは通勤時間や隙間時間帯での利用率が

高く、昼の12時台がピークで約6割となっている。タブレット非所有者では5.1年が5.2年にそれぞれ長期化する結果となっている。タブレット所有者の方が長期化する期間が長いものの、サイクル自体は短いことが確認された。タブレット所有者の方が、PCにおいて先進的な要素が導入されれば、受け入れられる可能性が高いことを示唆していると考えられる。

IDC Japan PC、携帯端末&クライアントソリューショングループマネージャーの敷田康氏は、「今後のPCの開発やマーケティングにおいては、複数の機器を使い分けるユーザーに焦点を当てて、タブレットやスマートフォンと連携した新しいユーザーエクスペリエンスを市場に示していく必要がある、そうすることによってPCの買い替えサイクルを早められる可能性がある」と語っている。



PC買い替え期間：タブレット所有者/非所有者

高く、昼の12時台がピークで約6割となっている。

またPCの買い替え期間についての調査では、現在が4.5年で、今後は4.8年と長期化する傾向となっている。タブレット所有者においては4.2年が4.6年に、タブ

●お問い合わせ先●

IDC Japan(株)セールス
 TEL : 03-3556-4761
 E-mail : jp-sales@idcjapan.co.jp
 URL : <http://www.idcjapan.co.jp/>